

# 「鎌倉殿」と千葉常胤

## 六、常胤の息子たち

NHKの大河ドラマ「鎌倉殿の13人」では、千葉一族中興の祖・千葉常胤を俳優の岡本信人さんが演じています。

常胤は、伊豆から逃れてきた源頼朝を助け、東北から九州に至る全国各地に所領を獲得しました。頼朝の死後、間もなく常胤も他界しますが、常胤の6人の息子たちがその所領を引き継いで各土地の名前(千葉、相馬、武石、大須賀、国分、東)を称し、彼らの子孫は各地で発展しました。



妙見宮に参詣する頼朝と千葉一族(相馬妙見歓喜寺蔵「下総国千葉郷妙見寺大縁起絵巻」(非公開))

息子たちに関する逸話としては、頼朝の嫡男の万寿(2代目鎌倉殿・頼家)が生まれた際に行われた「七夜の儀」(現在のお七夜)があります。鎌倉時代の歴史書「吾妻鏡」によると、七夜を任された常胤は、妻(秩父重弘の娘)の差配で、息子たちを伴って盛大に執り行いました。

息子たちは皆、父と同じ白の水干袴を身にまとい、儀式に参列しました。進物として、長男・胤正と次男・師常は甲(鎧)を持ち、三男・胤盛と四男・胤信は馬を引き、五男・胤通は弓箭(弓や矢などの武器)を、六男・胤頼は剣を持ち、6人揃って庭に並びました。頼朝は、「兄弟皆、容姿に優れた武者である」と感嘆したと記されています。

息子たちは後に「千葉六党」と呼ばれ、それぞれ各地の所領を治め、千葉一族はさらに勢力を拡大していきました。

大河ドラマ  
**鎌倉殿の13人**  
THE 13 LORDS OF THE SHOGUN

毎週日曜日 20:00から (NHK総合テレビ)  
18:00から (NHK BSプレミアム・BS4K)